

海賊版サイトなお700以上

漫画村の閉鎖後に一時減少した海賊版サイトによる被害は再び深刻化しており、業界からは「過去最悪の状態だ」との声が上がる。

海賊版対策団体「ABJ」によると、漫画村は月に最大1億件のアクセスがあった。2018年4月の閉鎖以降、海賊版サイトへのアクセスは減ったが、19年秋頃から再び増加。主な後継10サイトの合計アクセス数は、昨年1月の約6700万件から今年3月には約2億3000万件に急増した。現在700以上のサイトが存在し、ABJの担当者

者は「新型コロナウイルスの感染拡大に伴う巣ごもり

需要が拍車をかけた」とみる。

出版社側がネットサービス事業者への削除要請など地道な対策を続ける一方で、海賊版サイト対策を強化する改正著作権法が昨年6月に成立した。

今回の判決について、中村伊知哉・情報経営イノベーション専門職大学長（メディア政策）は「海賊版サイトによる被害の重大性を踏まえ、運営者には重罰を科すのだという強いメッセージになる」と指摘。「被害を防ぐには、民間の努力だけでなく、立法、摘発といった継続的な圧力も重要だ」としている。